

# 令和5年度全国学力・学習状況調査

## < 長崎県の結果の概要 >

### 調査の概要

#### 1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 2 実施対象

県内公立学校の以下の学年の、原則として全児童生徒を対象とする。

小学校調査...小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、  
特別支援学校小学部第6学年

中学校調査...中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、  
特別支援学校中学部第3学年

#### 3 調査内容

##### (1) 児童生徒に対する調査

教科に関する調査...小学校調査：国語、算数

中学校調査：国語、数学、英語

中学校英語「話すこと」に関する調査は、文部科学省C B Tシステムを用いたオンラインの音声録音方式で実施

質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

##### (2) 学校に対する調査

学校における指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

#### 4 調査期日

令和5年4月18日(火)

中学校英語「話すこと」調査に関する調査は、当日実施校と期間内実施校に分かれる。

・当日実施校(全国で約500校程度)：4月18日(火)

・期間内実施校(その他の中学校)：4月19日(水)～5月26日(金)

#### 5 調査実施校数及び児童生徒数

(1) 実施校数476校(調査対象者の在籍する学校の総数477校)

(小学校：305校、中学校：169校、義務教育学校：2校)

##### (2) 参加児童生徒数

小学校6年生 10,716人

中学校3年生 10,213人

# 全国学力・学習状況調査「結果の概要」

## 1 教科に関する調査

### 1 平均正答率及び平均正答数

(上段：平均正答率 下段：平均正答数)

県全体 (公立小・中・義務教育学校、県立中・特別支援学校)					
小学校			中学校		
教科	本県	全国	教科	本県	全国
国語	66	67.2	国語	69	69.8
	9.3/14	9.4/14		10.4/15	10.5/15
算数	60	62.5	数学	48	51.0
	9.6/16	10.0/16		7.2/15	7.6/15
英語			英語	40	45.6
				6.8/17	7.7/17
			英語		12.4
			「話すこと」		0.6/5

県立中学校(3校)		
教科	本県	全国
国語	91	69.8
	13.6/15	10.5/15
数学	82	51.0
	12.2/15	7.6/15
英語	77	45.6
	13.1/17	7.7/17

中学校英語「話すこと」の結果は、当日実施校の全国値のみ記載している。

### <参考1> 前回(令和4年度)の調査結果

(公立小・中・義務教育学校、県立中・特別支援学校)

校種	教科	本県	全国
小学校	国語	64	65.6
	算数	62	63.2
	理科	62	63.3
中学校	国語	68	69.0
	数学	48	51.4
	理科	48	49.3

## 2 結果の総括

### (1) 県全体の平均正答率

小学校では、国語で1.2ポイント、算数で2.5ポイント全国平均を下回った。

中学校では、国語で全国平均を0.8ポイント下回った。数学は3ポイント、英語5.6ポイント全国平均を下回った。

### (2) 各教科の結果から見られる本県児童生徒の課題

(太字は令和4年度に設定した重点課題であり、引き続き課題となっている)

		課 題	問題番号	平均正答率		
				全国	本県	自校
小 学 校	国 語	条件に合わせて書く	1二	26.7	23.9	
		漢字を文の中で正しく使う	1三(1)ア	52.8	47.5	
	算 数	図形の性質	2(4)	20.8	15.4	
		割合	4(1)	46.0	41.0	
中 学 校	国 語	話の展開を捉え、条件に合わせて書く	4三	50.0	48.1	
		文脈に即した漢字を正しく書く	3二	43.9	45.9	
	数 学	判断の理由を数学的な表現を用いて説明する	7(2)	33.6	36.6	
		用語の意味を正しく理解する	1 他	46.1	38.9	
	英 語	目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る	2	61.1	52.1	
		短い文章の要点を捉えて、考えとその理由を書く	8(2)	19.5	15.7	

## 2 質問紙調査

### 【道徳性、自己肯定感等】

調査項目	小 学 校						中 学 校					
	R4			R5			R4			R5		
	本県	全国	全国比	本県	全国	全国比	本県	全国	全国比	本県	全国	全国比
1 人の役に立つ人間になりたい	95.8	95.1	+0.7	96.9	95.9	+1.0	96.4	95.0	+1.4	95.8	94.6	+1.2
2 いじめはどんな理由があってもいけない	97.1	96.8	+0.3	97.4	96.9	+0.5	97.4	96.4	+1.0	96.5	95.5	+1.0
3 自分には、よいところがある	81.7	79.3	+2.4	85.9	83.5	+2.4	80.2	78.5	+1.7	82.1	80.0	+2.1
4 将来の夢や目標を持っている	81.7	79.8	+1.9	84.4	81.5	+2.9	69.5	67.3	+2.2	68.4	66.3	+2.1

- ◇ 道徳性については継続的に全国平均を上回っており、「人の役に立つ人間になりたい」「いじめはどんな理由があってもいけない」と思っている児童生徒の割合は、令和4年度に引き続き95%を超えている。
- ◇ 「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合は、令和4年度に引き続き全国平均を上回っており、自分自身や自分の将来について、肯定的に捉えている。

### 【学習態度と生活習慣等】

調査項目	小 学 校						中 学 校					
	R4			R5			R4			R5		
	本県	全国	全国比	本県	全国	全国比	本県	全国	全国比	本県	全国	全国比
1 授業では、自分で考え、自分から取り組んでいる	75.2	77.3	-2.1	78.1	78.8	-0.7	77.5	79.2	-1.7	78.6	79.2	-0.6
2 家で自分で計画を立てて勉強をしている	69.9	71.1	-1.2	72.5	70.7	+1.8	58.6	58.5	+0.1	56.7	55.0	+1.7
3 授業以外に1時間以上(中学校は2時間以上)の学習をしている(月～金)	57.1	59.4	-2.3	56.8	57.1	-0.3	26.1	35.2	-9.1	25.4	33.7	-8.3
4 毎日朝食を食べている	94.5	94.4	+0.1	94.4	93.9	+0.5	94.1	91.9	+2.2	92.9	91.2	+1.7

- ◇ 「授業では、自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合は、令和4年度に引き続き全国平均を下回っているものの、その差は縮まった。
- ◇ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を上回っている。
- ◇ 「授業以外に1時間以上(中学校は2時間以上)の学習をしている(月～金)」と回答した児童生徒の割合は、小学校においては令和4年度に引き続き全国平均を下回っているものの、その差は縮まった。中学校においては令和4年度に引き続き全国平均を大きく下回っている(8.3ポイント)。

【地域や社会との関係等】

	調査項目	小 学 校						中 学 校					
		R4			R5			R4			R5		
			全国比			全国比			全国比		全国比		
1	今住んでいる地域の行事に参加している	本県	53.6	+0.9	本県	58.1	+0.3	本県	41.9	+1.9	本県	37.1	-0.9
		全国	52.7		全国	57.8		全国	40.0		全国	38.0	
2	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う ※R4は「何かすべきかを考えることがある」	本県	51.0	-0.3	本県	78.2	+1.4	本県	47.9	+7.2	本県	67.8	+3.9
		全国	51.3		全国	76.8		全国	40.7		全国	63.9	

- ◇ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合は、中学校では全国平均を下回っている。
- ◇ 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を上回っており、地域や社会への関心の高さがうかがえる。

【ICT機器の活用等】

	調査項目	小 学 校						中 学 校					
		R4			R5			R4			R5		
			全国比			全国比			全国比		全国比		
1	授業でPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用している	本県	73.5	-2.6	本県	88.0	+1.7	本県	71.1	-0.6	本県	90.7	+3.2
		全国	76.1		全国	86.3		全国	71.7		全国	87.5	
2	授業以外に、1日当たり1時間以上PC・タブレットなどのICT機器を勉強のために使っている(月～金)	本県	20.5	-1.1	本県	19.5	+1.6	本県	16.1	-1.6	本県	12.4	-1.0
		全国	21.6		全国	17.9		全国	17.7		全国	13.4	
3	学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う	本県	95.1	+0.7	本県	96.1	+1.0	本県	94.5	+1.9	本県	94.8	+1.5
		全国	94.4		全国	95.1		全国	92.6		全国	93.3	

- ◇ 「授業でPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用している」と回答した児童生徒の割合は全国平均を上回っており、授業でのICT機器の活用が図られていることがうかがえる。一方、授業以外に、1日当たり1時間以上PC・タブレットなどのICT機器を勉強のために使っている児童生徒の割合は低くなっている。
- ◇ 「学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」と回答した児童生徒の割合は、令和4年度に引き続き全国平均を上回っている。

### 3 各教科の状況

#### 小学校国語

#### 1 二 条件に合わせて書く 重点課題

・ 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題です。

##### 【カード④】

7月20日

【農家の石山さんのお話】

- ・ 雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
- ・ 雑草が多いと、いねが病気になることがある。
- ・ 農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

##### 【カード⑤】

7月21日

【学校でできる解決方法】

- ・ 雑草取りの回数を増やす。
- ・ 雑草取りの人数を増やす。

- （条件）
- 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
  - 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
  - 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

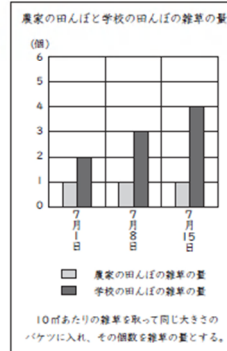
##### 【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下じゆんに学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイ くらべてみました。ウ きかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



このようなことに取り組み、9月の下じゆんにお米をしゅうかくすることができました。

- 1 川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、「川村さんの考え」と川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。
- 二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。
- に学校の米作りの内容に入る内容

#### < 状況と課題 >

本問の正答率は、全問題の中で最も低い23.9%であり、全国平均との差は - 2.8ポイントでした。

解答の状況をみると、条件のうち、「【川村さんの文章】のグラフから分かること」「【カード ④】から分かること」のいずれかの情報しか取り上げていないため誤答となった児童が、約4割いました。学校の米作りの問題点について、グラフとカードのそれぞれの情報を関係付けられなかったことに課題があると考えられます。

#### 正答率 (%)

全国	26.7
本県	23.9
市町	
自校	

#### < 自身の授業改善のポイント >

1 三(1)ア 漢字を文の中で正しく使う

・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題です。

雑草取りを続けたのですが、ア い がいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。

ウ き かんは7月1日から15日までです。

正答：意外

(1) 部ア、ウを漢字で書いていねいに書きましょう。

三 川村さんは、「川村さんの文章」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていたイ、ウを漢字に書き直すことにしました。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

部ア、

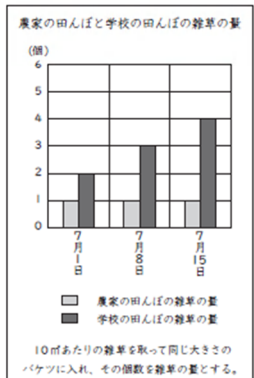
【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下じゆんに学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア い がいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイ くら べてみました。ウ き かんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



このようなことに取り組み、9月の下じゆんにお米をしょうかくすることができました。

1 川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、「川村さんの考え」と川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

< 状況と課題 >

1 三(1)アの正答率は47.5%であり、全国平均との差は-5.3ポイントと全問題の中で最も差が見られました。

解答の状況をみると、「意」を文の中で正しく使うことができていない児童が約4割おり、その中には、同じ読み方をする「以」と解答している児童もいました。学年別配当表に示されている漢字について、同音異義語に注意して文の中で正しく使うことに課題があると考えられます。

正答率 (%)

全国	52.8
本県	47.5
市町	
自校	

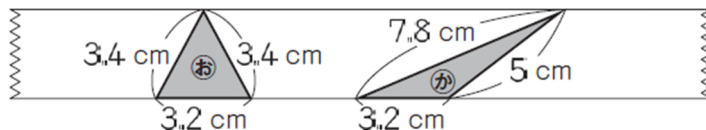
< 自身の授業改善のポイント >



2 (4) 図形の性質

・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を記述することができるかどうかをみる問題です。

2 (4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊟と㊿の2つの三角形をつくります。



上の㊟と㊿の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。  
下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。  
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊟の面積のほうが大きい。
- 2 ㊿の面積のほうが大きい。
- 3 ㊟と㊿の面積は等しい。
- 4 ㊟と㊿の面積は、このままでは比べることができない。

(正答例) 三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。  
おとかの底辺は、どちらも3.2 cmなので等しいです。おとかの  
高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。  
だから、おとかの面積は等しいです。

< 状況と課題 >

本問の正答率は、全国平均よりも5.4ポイント低い、15.4%でした。

解答の状況を見ると、二つの三角形の面積が等しいと判断できた児童(正答である3を選択できている)は、32.5%にとどまっていた。また、辺の長さから面積の大小を判断したと思われる児童(2を選択)が約3割、高さを見いだすことができなかったと思われる児童(4を選択)が約3割でした。

面積の大小を判断するために必要な情報を見いだすことに課題が見られました。

正答率 (%)

全国	20.8
本県	15.4
市町	
自校	

< 自身の授業改善のポイント >

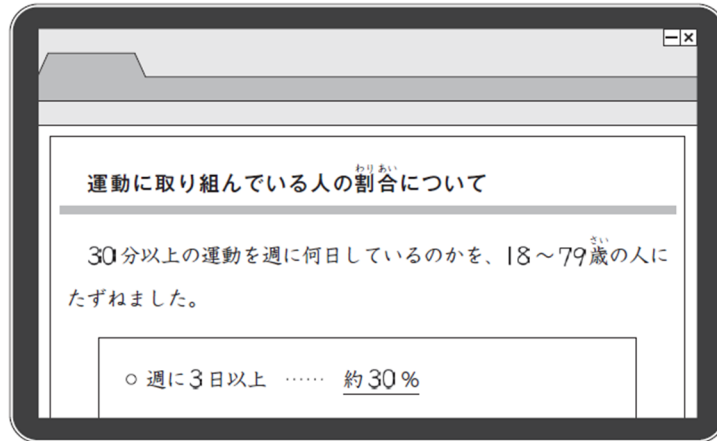


#### 4 (1) 割合

・百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる問題です。

4

あいかさんは、毎日を健康に過ごすためには、運動、食事、休養・すいみんが必要であることを学習しました。そこで、インターネットで運動について調べると、下のような記事を見つけました。



あいか

1日に30分以上の運動を、週に3日以上している人の割合は約30%なのですね。

(1) 30%について考えます。割合が30%になるものを、下のアからオまでのの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 100人をもとにした0.3人の割合
- イ 100人をもとにした3人の割合
- ウ 100人をもとにした30人の割合
- エ 10人をもとにした3人の割合
- オ 30人をもとにした1人の割合

#### < 状況と課題 >

本問の正答率は、全国平均よりも5.0ポイント低い、41.0%でした。

解答の状況を見ると、ウまたはエのどちらかのみ正解している児童が4割、どちらも正解することができなかった児童が約2割でした。

割合に関する問題は昨年度も正答率が低く、割合の意味を理解することや、基準量と比較量を正しく捉えることに、引き続き課題がみられました。

#### 正答率 (%)

全国	46.0
本県	41.0
市町	
自校	

#### < 自身の授業改善のポイント >

4三 話の展開を捉え、条件に合わせて書く **重点課題**

・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる問題です。

4 石井さんは、国語の時間に、「竹取物語」を読みました。そのあと、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見付け、読み比べてみました。次は、「授業で読んだ「竹取物語」の一部」の（原文）とその（現代語訳）、「学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【授業で読んだ「竹取物語」の一部】

（原文）  
今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつづ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造となむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとつくしうてみたり。

（現代語訳）  
今ではもう昔のことだが、竹取の翁という者がいた。野や山に分け入って竹を取っては、いろいろなことに使っていた。名前を、さぬきのみやつこといつた。その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。不思議に思っ、近寄って見ると、筒の中が光っている。それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいらしい様子で座っている。

【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】

（星新一）「竹取物語」による（）

（星新一）「竹取物語」による（）

三 【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や「学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部」の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。なお、読み返して文章を直したときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

< 状況と課題 >

作者である星新一が解釈を加えて書いた【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】について、どこがどのように工夫されていると思うか、2つの資料の表現を取り上げて自分の考えを書く問題です。本問の正答率は48.1%であり、全国平均に1.9ポイント届きませんでした。また、全く解答できなかった生徒の割合（無解答率）は22.8%であり、本調査の中で最も高い結果となりました。

解答の状況をみると、2割強の生徒は、どのような工夫がされているかを書いていなかったり、いずれかの資料の表現を取り上げていなかったりしていました。文章の構成や展開、表現の効果を抑えること、そして自分の考えを支える根拠を明確にして記述することに課題があると考えられます。

正答率（%）

全国	50.0
本県	48.1
市町	
自校	

< 自身の授業改善のポイント >

3 二 文脈に即した漢字を正しく書く

・文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる問題です。

二 線部のひらがなを漢字に直し、楷書でいねいに書きなさい。

【正答】  
推 (し)

「判じ絵」について 山田 光一


1. はじめに  
学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳しく調べることにした。

2. 調査方法  
学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。

3. 調査結果

■「判じ絵」とは何か  
「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。  
(ア) ただし、【図1】のように、描かれているもの 【図1】ザル  
と意味しているものが異なるため、解読する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おしきかかて考える」ことが必要になる。(イ) 言ってみれば、なぜなぞやクイズのようなものである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。

■「判じ絵」の解読の面白さ  
「判じ絵」の解読の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。

 【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解読すると、鳥の「スズメ」という意味になる。

【図2】スズメ 【図3】は、

【図3】 【図3】

山田さんは、国語の時間に、言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。次は、山田さんが書いているレポートの「下書きの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

③ 下書きの一部

< 状況と課題 >

本問の正答率は45.9%であり、全国を2.0ポイント上回っているものの、本調査において正答率が最も低く、無解答率も10.7%であったことから、課題と捉えています。

解答の状況を見ると、正答である「推(し)」以外の解答をした生徒が43.4%いました。「押(し)」など同じ読みをもつ別の漢字を書いたり、「推」の字自体を正しく書けなかったりしたものと考えられます。文脈の中で適切な漢字を使うことや、漢字を正しく書くことに課題がみられました。

正答率 (%)

全国	43.9
本県	45.9
市町	
自校	

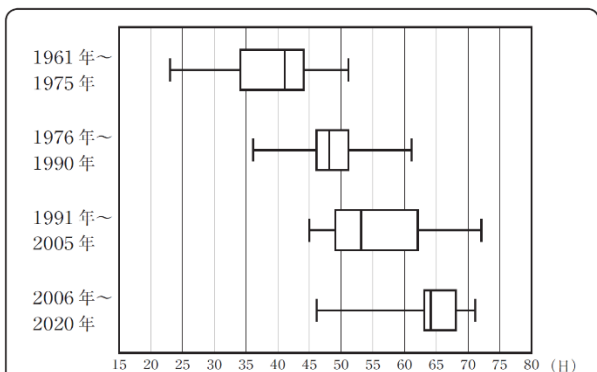
< 自身の授業改善のポイント >

7 (2) 判断の理由を数学的な表現を用いて説明する **重点課題**

・複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題です。

7 イチョウの木の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日<sup>おうようび</sup>とい (2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅くなってきている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのが気になりました。そこで、二人が住む地域の黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。

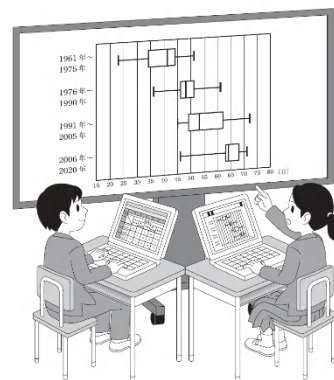
黄葉日までの経過日数の分布



	経過日数(日)				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
1961年～1975年	23	34	41	44	51
1976年～1990年	36	46	48	51	61
1991年～2005年	45	49	53	62	72
2006年～2020年	46	63	64	68	71

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなってきている傾向がありそうですね。」  
 啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」  
 一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。



< 状況と課題 >

問題に示された主張の理由を、2つの箱ひげ図の箱に着目して説明する本問の正答率は36.6%と低く、無解答率は23.4%でした。解答の状況をみると、箱ひげ図の箱の長さやひげの長さについて記述した生徒と、箱ひげ図から読み取れることを記述してはいるものの、主張の理由を適切に記述できなかった生徒が約2割いました。

データの分布の傾向を読み取って判断し、その理由を箱ひげ図の箱の位置や四分位数などを用いて説明することに課題があると考えられます。

正答率 (%)

全国	33.6
本県	36.6
市町	
自校	

< 自身の授業改善のポイント >

## 用語の意味を正しく理解する

- ・自然数や累積度数など、用語の意味を理解しているかどうかをみる問題です。

### 自然数の意味

1 下のアからオまでの数の中から自然数をすべて選びなさい。

- ア -5
- イ 0
- ウ 3
- エ 4.7
- オ 9

### 反比例の意味

4  $y$  は  $x$  に反比例し、比例定数は3です。このとき、 $x$  の値とそれに対応する  $y$  の値について、下のアからエまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。ただし、 $x$  の値が0の場合は考えないものとします。

- ア  $x$  の値と  $y$  の値の和は一定で、比例定数3に等しい。
- イ  $y$  の値から  $x$  の値をひいた差は一定で、比例定数3に等しい。
- ウ  $x$  の値と  $y$  の値の積は一定で、比例定数3に等しい。
- エ  $y$  の値を  $x$  の値でわった商は一定で、比例定数3に等しい。

### 累積度数の意味

5

女子50m自由形の記録

階級(秒)	度数(人)	累積度数(人)
以上 未満 27.00 ~ 28.00	3	<input type="text"/>
28.00 ~ 29.00	2	<input type="text"/>
29.00 ~ 30.00	4	<input type="text" value="ア"/>
30.00 ~ 31.00	11	<input type="text"/>
31.00 ~ 32.00	8	<input type="text"/>
32.00 ~ 33.00	6	<input type="text"/>
33.00 ~ 34.00	3	<input type="text"/>
34.00 ~ 35.00	3	<input type="text"/>
合計	40	

女子50m自由形の記録の  には最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数が入ります。 に入る値を求めなさい。

### 四分位範囲の意味

7 (1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。

	経過日数(日)				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
1961年～1975年	23	34	41	44	51
1976年～1990年	36	46	48	51	61
1991年～2005年	45	49	53	62	72
2006年～2020年	46	63	64	68	71

### 正答率 (%)

	1	4	5	7(1)
全国	46.1	42.8	46.1	65.7
本県	38.9	39.2	39.5	58.8
市町				
自校				

### < 状況と課題 >

大問1、4、5の正答率は、いずれも4割に届かず、全国平均を約4～7ポイント下回りました。大問7の正答率は58.8%ですが、全国平均よりも6.9ポイント低い結果でした。解答の状況を見ると、例えば大問1では、ウの「3」、オの「9」に加えて、イの「0」も自然数であると答えた生徒の割合は31.0%であり、大問5では、累積度数ではなく相対度数を答えた生徒の割合が18.6%であったことから、用語の意味を正しく理解できていないことが課題と考えられます。

### < 自身の授業改善のポイント >

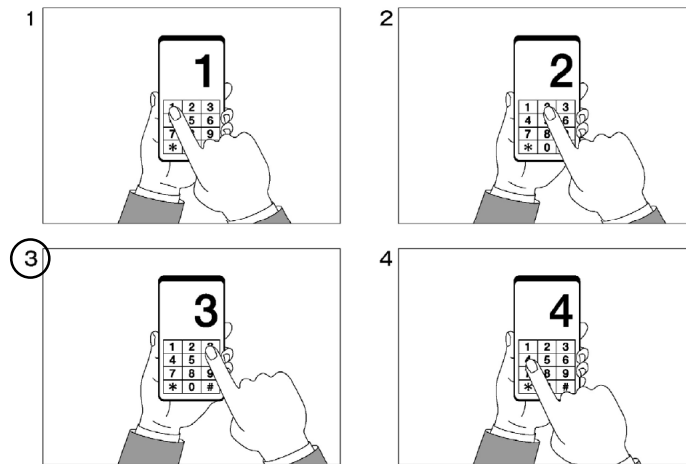


2 目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る

- ・ 日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる問題です。

2 (放送問題)

あなたは買物からの帰宅後、ショッピングセンターに傘を忘れたことに気が付きました。電話で問合せをしたところ、自動音声案内につながりました。流れてくる音声メッセージを聞き、あなたが選択すべき番号として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。



(スクリプト)

This is ABC shopping center. Thank you for calling. How can we help you? If you want to know our opening hours, please choose number 1. If you want to join our shopping club, please choose number 2. If you lost something in our shopping center, please choose number 3. If you have any questions about shops and restaurants in our shopping center, please choose number 4.

< 状況と課題 >

忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する本問題の正答率は、全国平均より9.0ポイント低い52.1%でした。パート1（聞くこと）全体の正答率は51.8%で、全国平均より6.6ポイント低い結果でした。

解答の状況を見ると、1を選択した生徒は約1割、2または4を選択した生徒はそれぞれ約2割で、「忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞く」という目的を把握した上で、関連する語句や表現に着目して聞き取ることに課題があると考えられます。

正答率 (%)

全国	61.1
本県	52.1
市町	
自校	


< 自身の授業改善のポイント >

8 (2) 短い文章の要点を捉えて、考えとその理由を書く

・社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる問題です。

8 英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?



(注) plate: 皿      even if ~: たとえ~だとしても  
apartment: アパート      agree with: ~に賛成する

(1) ブラウン先生が最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 We see many kinds of robots around us.
- 2 I saw a robot and it was working as a guide.
- 3 People will have fun if they live with robot pets.
- ④ Robots can change many people's lives for the better.

(2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

< 状況と課題 >

英文を読んで要点を捉え、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く本問題の正答率は全国平均より3.8ポイント低い15.7%でした。また、無解答率は29.6%でした。

解答の状況を見ると、約3割の生徒が自分の意見は書いているが、その理由を書くことができていませんでした。自分の意見を書く際に、なぜそのように考えたのかという理由を、書き手の意見を踏まえて書くことに課題があると考えられます。

正答率 (%)

全国	19.5
本県	15.7
市町	
自校	

< 自身の授業改善のポイント >



## 4 各市町の状況

(全国平均以上の場合「+」表示)

校種	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
長崎市			+		
佐世保市					
島原市		+			
諫早市					
大村市			+		
平戸市					
松浦市					
対馬市					
壱岐市					
五島市					
西海市					
雲仙市			+	+	
南島原市					
長与町	+	+	+	+	+
時津町	+	+	+	+	
東彼杵町				+	
川棚町					
波佐見町					
小値賀町	+		+	+	
佐々町			+		
新上五島町				+	